パソコン小話（２６１）

2019/11/2

パソコンの記録装置で、ＨＤＤ・ＳＳＤとは？

パソコンで作成した文書や画像などのデータは、ストレージ内にある記録装置（媒体）へ保存される仕組みです。

小話206でも記述していますが、

記録装置には、大きく分けて従来のハードディスクドライブ（ＨＤＤ）と、最近、急激に伸びているソリッドステートドライブ（ＳＳＤ）が有ります。

以下に、その特徴を記述します。









1. **HDDは機械駆動式だから、徐々に壊れていく**

ＨＤＤは、内部で回転部分があるので、衝撃などで磁性体の破損があります。物理的に破損した箇所にアクセスするたびに磁気ヘッドにもダメージが加わり、さらに破損が進行していきます。**その結果、「パソコンなどから全く認識しない」「異音が出続ける」**といった最悪の状態に陥ります。

**2．SSDには寿命がある**

高速データ転送が可能なSSDですが、実は「書き換え寿命」が存在します。

SSDに用いられている「フラッシュメモリ」のデータを記録する最小単位をセルと呼びますが、**このセルは徐々に劣化を起こします。**

通常の使用では、ＨＤＤよりも寿命が長いと言われています。

これからは、ＳＳＤのパソコンが増えていく傾向に有ります。

**パソコンのパンフレット表示例**

ストレージの項目に記載されています。





　　　　　　　　　　

以上